

ひがしの子



佐久市立東小学校学校だより 令和4年11月号

【学校教育目標】豊かな心を持ち、よく考え、自分の力で生きぬく子ども

精一杯の演奏 子ども音楽会 大成功！

11月4日(金)には、学校閉鎖のため実施が延期されていた子ども音楽会を開催することができました。音楽会の特別時間割期間中に学校閉鎖となり、体育館でのステージ練習が中断してしまったため、練習してきたことを忘れてしまっているのではないかと心配されましたが、そんな心配はまったくありませんでした。学校閉鎖中も音楽会ができることを信じ、家庭での練習に取り組んでいただき、ありがとうございました。

当日は新型コロナウイルス感染症予防・拡大防止対策として低学年、高学年に分かれて実施しました。

どの学年も練習の成果を出し切り、一人ひとりが精一杯演奏し、素晴らしい音楽会になりました。残念だったのは、大人音楽会が中止となり、YouTubeの動画配信の形で見ていただけたとは思いますが、直接演奏をご鑑賞していただくことができなかったことです。

今後も新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、教育活動に取り組んでいきます。引き続き、ご支援とご協力をお願いいたします。



5年生脱穀(11月1日) 社会見学(11月8日)

天気が心配された中、5年生が11月1日(火)に脱穀を行いました。稲わらを運んだり、ハーベスタに通したりする作業をみんなで協力して行い、12袋ものお米を収穫することができました。

今年もボランティアの皆様にお支えいただき、日本人の主食である米作りというとても貴重な体験を行うことができました。ありがとうございました。

また、5年生は11月8日(火)に社会見学で須坂市のトヨタユーアンドボディペインティングと長野市のNHK長野放送局に行きました。

環境に配慮しながら車の修理や内装のクリーニングを行っている様子を見学したり、ニュースがどのように私たちのもとに届けられているのかを体験しながら学んだりしました。



なかよし月間

「人権の大切さについての理解を深め、自尊感情を育てる」「学級や学年でなかよしの輪を広げる」というねらいのもと、11月はなかよし月間として、「あったかことばの木」や「たてわり清掃」「校長講話」「児童会の企画」「弁護士によるいじめ防止授業」など、さまざまな取り組みを行いました。18日(金)には、保護者の皆様に各学級で人権にかかわる授業も参観していただきました。

この月間で学んだことを生かし、今後も人権感覚を高めるための取り組みを行っていきます。



避難訓練(11月10日)

暖房を使い始め、空気も乾燥してくるこの時季、火災の発生が心配になります。学校では、事前に児童には知らせず、休み時間に火災を想定した避難訓練を行いました。体育館や校庭で遊んでいる児童、図書館で本を貸し借りしている児童、委員会活動をしている児童など、学校の様々な場所からでしたが、安全な避難経路を通り、迅速に避難することができました。

佐久消防署の方からは、「おさない」「はしらない」「しゃべらない」「もどない」というお話や、火の近くではマスクが溶けてしまい危険なので、マスクをとることなどのご指導いただきました。万が一のとき、落ち着いて行動することができるための避難訓練となりました。



音楽鑑賞会(11月11日)

ここ数年、新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった音楽鑑賞教室ですが、今年は東京ブロックフルーテアンサンプルの皆様をお迎えし、久しぶりに実施することができました。今回来ていただいた東京ブロックフルーテアンサンプルの皆様は、児童にとってはとても身近なリコーダーを中心とした演奏団体で、大小様々なリコーダーの美しい音色とハーモニーでクラシックからアニメソングまで幅広い演奏でした。児童たちは生で聴くプロの演奏に聴き入っていました。

